

総代会に関する事項

総代会の仕組み

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数が多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動やホームページ等を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでいます。

総代候補者選考基準

(1) 資格要件

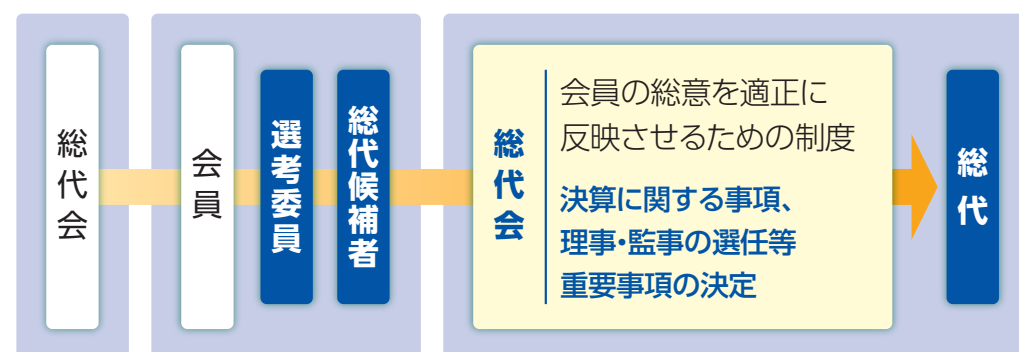
当金庫の会員であること

(2) 適格要件

- ① 地域における信頼が厚く、総代として相応しい人であること
- ② 金庫の理念をよく理解し、金庫との取引や経営内容も良好であること
- ③ 地域の情報に通じ、金庫の業務運営に協力的であること
- ④ 良識を持って正しい判断のできる人であること
- ⑤ 就任時の満年齢が80歳を超えない者であること
- ⑥ その他総代選考委員が適格と認めた者

総代会は、会員1人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です

- ① 総代会の議決に基づき理事長が選考委員を委嘱し、選考委員の氏名を店頭に掲示
- ② 選考基準に基づき総代候補者を選考
- ③ 理事長は、総代候補者の氏名を店頭に掲示し、所定の手続きを経て、会員の代表として総代を委嘱

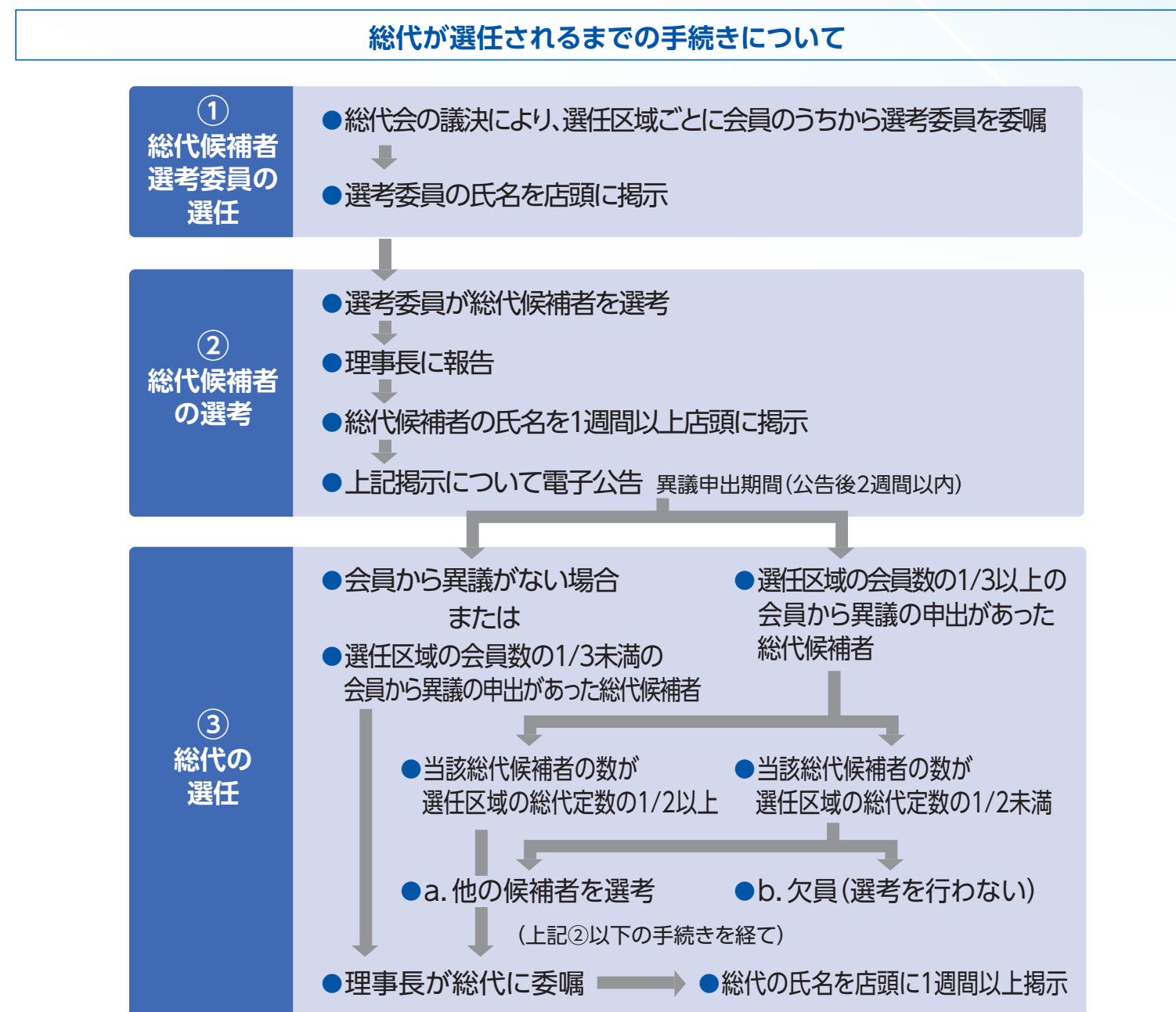


総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

- ① 総代の任期は3年です。
- ② 総代の定数は定款に定める範囲内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められています。
なお、2023年6月1日現在の総代数は、148人です。

(2) 総代の選任方法



総代会に関する事項

第104期通常総代会の決議事項

第104期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれの原案の通り了承されました。

(1) 決議承認事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款第15条に基づく出資会員除名の件
- 第3号議案 定款一部変更の件
- 第4号議案 総代候補者選考委員33名選任の件
- 第5号議案 理事19名選任の件
- 第6号議案 監事3名選任の件
- 第7号議案 退任理事に対する退任慰労金贈呈の件

(2) 報告事項

- ①第104期業務報告、貸借対照表及び損益計算書
- ②2023年度事業の方針

総代の氏名

(2023年6月1日現在)

選任区	選任区域	定員	氏名							
第1区	港区、大正区、浪速区、天王寺区、東成区、生野区	16	生田 啓祐⑦ 菜野 昇一③ 福家 通和④ 和田 拓也①	池上 聰⑦ 澤井 勝④ 藤本 幸男①	池上 秀明⑦ 田中 俊次② 松田 浅三①	池上 利治③ 直居 淳雄⑦ 美野 昌彰⑦	金澤 規勝① 西上 雅章④ 山川 正二①			
第2区	住之江区、西成区、阿倍野区、東住吉区、住吉区	13	池元 真吾② 中井 将彦⑦ 東辻 実②	井東 博子① 西村源一郎① 松田 敦嗣⑦	氏田 耕吉④ 橋詰 友二④ 山本 哲⑦	鴻原 森蔵④ 馬場 雅樹③	田村 毅④ 浜野 廣美③			
第3区	西区、中央区、都島区、旭区、城東区、鶴見区、守口市	18	伊藤 龍二④ 庄司 眞之④ 中村 信男⑦ 宮副 洋①	浦野 公義④ 田中 富之③ 西野 榮二③ 宮地 秀和②	桶谷 正廣⑦ 谷本 哲哉④ 林 陽二郎⑦ 村上 裕宣③	片桐 敬雄④ 長尾 幸祐④ 福井 昌勝⑤	北野 吉治③ 中田 裕康⑤ 松井侯乃輔③			
第4区	平野区、松原市、東大阪市、八尾市、藤井寺市、柏原市、太子町、河南町	18	奥山 泰彦① 田井 博康③ 中西 英二④ 丸橋 憲士①	川島 昭夫③ 竹内 成介⑦ 中村 喜英② 柳原 良雄⑦	熊本 博⑦ 田中 達雄⑤ 八野 勝征⑦ 山本 良継④	清水 宏祐⑦ 坪内 敏剛② 藤井 巡造①	白土 滋⑦ 寺尾 勇④ 藤田 公一⑦			
第5区	西淀川区、此花区、淀川区、福島区、北区、東淀川区、伊丹市、尼崎市、池田市、箕面市、豊中市、吹田市、茨木市、摂津市、高槻市、門真市、寝屋川市、大東市、枚方市、交野市、四條畷市、豊能町、能勢町、島本町	22	石瀬 浩三⑦ 小泉めぐみ② 田村 耕作④ 原田 豊⑦ 吉岡 友行②	岩祖豊太郎⑦ 後藤 清② 土屋 祐造⑤ 福本 桂太②	大下昇三郎④ 齊野 善之④ 中村 勝⑦ 三浦 和良②	片岡 洋一③ 佐々木克義⑦ 原 千馬① 村田 治彦④	木下 順④ 高梨 憲春② 原 宏⑦ 安本 亮一②			
第6区	堺市、千早赤阪村	25	井口 信正⑦ 金子 種明② 國井 豊⑦ 成瀬 清伸② 三上 尚嘉⑦	今徳 信夫④ 川嶋 淳史② 蔵田 博③ 西田 泰庸② 溝端 恵一⑦	岩田 修一② 河村 厚男⑦ 田島 哲康③ 野口 一⑦ 横山 寿彦⑦	梅川 昌彦② 北村 讓⑦ 田中 政義③ 花澤 良隆③ 吉田 勘哉④	奥野 光計④ 木村 浩嗣② 中谷 好和⑦ 日野 雅生③			
第7区	高石市、泉大津市、和泉市、羽曳野市、大阪狭山市、富田林市、河内長野市、忠岡町、岸和田市	24	飯坂 清① 奥 吉治⑦ 川上 隆③ 畑野 恒和① 村上 昭二⑤	井谷 公蔵④ 片渕 昭人⑥ 川上 裕② 平野 讓⑤ 森山伸一郎②	今井 剛志① 片山 英和⑥ 川崎 三憲⑦ 藤井 清和① 山内 和彦⑦	奥 忠道⑦ 亀井 一① 當眞 嗣昭⑦ 堀川 昇⑥ 勇野 耕二②	奥 藤喜雄⑦ 河 宗啓① 西端 文雄① 宮崎 吉二⑦			
第8区	貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、和歌山県紀の川市《除く貴志川町、旧那賀町》、和歌山県岩出市	14	井田 圭一① 坂口修一郎⑦ 平松 慶信①	出原 達也⑥ 西浦 孝彰① 水本 修一③	岩出 正次③ 西坂 栄一⑤ 山口 義幸⑤	浦川 隆志⑦ 西田 隆治⑦ 大和谷 進⑤	金子 健一② 野口 眞弘②			

※氏名の後の数字は総代の就任回数です。就任回数は、旧南大阪信用金庫との合併後(平成16年10月)で計算しています。

総代の属性別構成比

職業別	法人役員96.7%、個人事業主3.3%
年代別	70代以上 56.0%、60代 26.0%、50代 15.3%、40代 2.7%
業種別	製造業35.3%、卸売業15.3%、サービス業14.0%、建設業13.3%、不動産業・物品賃貸業10.7%、小売業4.7%、運輸業4.0%、飲食業1.3%、その他1.4%